

第217回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成26年4月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,512	-1.06	0.04	4,125	0.24	0.16
東部地区	14,211	-0.47	0.19	5,735	0.49	0.79
西部地区	10,387	-0.41	0.14	4,020	0.80	0.34
駅南地区	6,359	0.07	0.53	2,802	1.37	1.11
半田地区	3,700	0.40	0.02	1,406	0.42	0.07
横山地区	5,573	-0.74	0.30	1,951	0.98	1.03
茨目・田尻地区	7,010	0.18	0.25	2,483	1.80	0.60
荒浜地区	5,002	-0.77	0.14	2,013	0.14	0.39
その他地区	19,338	-1.89	-0.19	7,125	-0.61	-0.15
西山町地区	5,938	-2.44	0.05	2,131	-0.69	1.13
高柳町地区	1,662	-3.87	-0.29	785	-1.75	-0.25
柏崎市計	88,692	-0.94	0.09	34,576	0.31	0.44
刈羽村	4,806	-0.18	0.33	1,575	0.44	0.38
小国地区（長岡市）	5,846	-2.69	-0.40	2,112	-0.89	-0.14
出雲崎町	4,816	-2.51	-0.33	1,771	-1.06	-0.11
合計	104,160	-1.08	0.05	40,034	0.19	0.38

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は前年同月比では、すべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で850人、0.94％、刈羽村で9人、0.18％、小国地区（長岡市）で、162人、2.69％および出雲崎町で124人、2.51％とそれぞれ減少したことから、全体では1,145人、1.08％の減少となっている。ただし、前月比では、柏崎市で84人、0.09％、刈羽村で16人、0.33％増加し、小国地区で24人、0.40％および出雲崎町で16人、0.33％と減少したことから、全体では60人、0.05％の増加となっている。

世帯数の前年同月比では、柏崎市で107世帯、0.31％および刈羽村で7世帯、0.44％と増加しているが、小国地区で19世帯、0.89％および出雲崎町で19世帯、1.06％が減少したことから、全体では76世帯、0.19％の増加となった。また、前月比においては、柏崎市で152世帯、0.44％および刈羽村で6世帯、0.38％と増加しているが、小国地区で3世帯、0.14％および出雲崎町で2世帯、0.11％の減少により、全体では153世帯、0.38％の増加となっている。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,725		27.68		0.34	
月間有効求職者	1,893		-12.15		5.87	
月間有効求人倍率	0.91	1.17	0.28*	0.28*	-0.05*	0.03*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,725人と前年同月比で374人、27.68％の増加となり、前月比でも6人、0.34％増加している。

月間有効求職者数は、1,893人と前年同月比で262人、12.15％減少しているものの、前月比では105人、5.87％増加している。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.91倍と前年同月比で0.28ポイント上回ったが、前月比では0.05ポイント下回る結果となった。なお、県平均1.17倍と比べると0.26ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が638人と前年同月比で60人、10.38％増加し、月間新規求職者数が636人と前年同月比で109人、14.63％減少した結果、月間新規求人倍率は1.00倍となり、前年同月の0.76倍に比べて0.24ポイント上回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成25年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	24	-23	-18	24	-23
共 同 住 宅	0	-4	-1	0	-4
事 務 所	0	-2	0	0	-2
作 業 所・工 場	1	0	-1	1	0
営 業 建 物	1	0	0	1	0
公 共 建 物	0	0	0	0	0
そ の 他	13	7	5	13	7
合 計	39	-22	-15	39	-22

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が39件と前年同月比では22件の減少となる。工種別内訳の増減をみると、前年同月比で一般住宅(併用)で23件、共同住宅で4件、事務所で2件の減少し、その他で7件増加している。

なお、工種全体の申請内容は、新築が27件となっており、また一般住宅(併用)24件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況では、市内施工業者が13件(うち新築8件)、市外施工業者が11件(うち新築9件)となっている。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,777	0.58	-0.11	20,148	0.00	-19.81
電 力	9,783	-2.85	-2.00	36,467	0.39	-7.39

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比では383口、0.58%の増加となったものの、前月比では77口、0.11%の減少となっている。一方、電力においては、前年同月比で288口、2.85%の減少となっており、前月比でも200口、2.00%の減少となっている。

使用量においては、電灯が前年同月比で2kwh、0.00%の減少、前月比でも、4,978kwh、19.81%と減少している。一方、電力においては、前年同月比で142kwh、0.39%の増加となっているが、前月比では、2,913kwh、7.39%の減少となった。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,469,143	-3.73	-4.79	694,374	0.91	9.56
営 業 用	232,808	-2.62	-20.83	116,262	-0.14	2.99
工 業 用	695,680	-3.03	-18.35	107,208	-6.05	-2.77
官 公 学 校 用	349,114	-16.28	-45.01	68,335	-0.23	-9.88
そ の 他				57	54.05	58.33
合 計	2,746,745	-5.27	-17.37	986,236	-0.09	5.73

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で153,029m³、5.27%と減少、前月比でも577,481m³、17.37%の減少となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比および前月比ともに全ての項目で減少している。

一方、水道給水量は、前年同月比で896m³、0.09%と減少しているが、前月比は53,462m³、5.73%の増加となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比では、家庭用およびその他で増加している。また、前月比でも、家庭用・営業用およびその他の項目で増加している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	81,941	-2.47	-5.58	84,410	-3.05	-5.86
西 山	36,425	-7.39	-7.01	33,202	-7.50	-7.02
米 山	20,033	-2.60	13.57	18,012	-6.42	10.29
合 計	138,399	-3.83	-3.62	135,624	-4.63	-4.29

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域における高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で5,525台、3.83%減少しており、同様に、前月比においても5,200台、3.62%減少している。

一方、出口においても、全体では前年同月比で6,593台、4.63%減少しており、同様に、前月比においても6,087台、4.29%減少している。

インター別で見ると、前年同月比では、全ての入口・出口で減少しているものの、前月比においては、柏崎・西山の入口・出口で減少しているものの、米山の入口・出口は、増加している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	379,233	2.70	1.06	142,103	-2.26	-2.23
平 残	377,023	3.01	2.07	142,689	-2.04	-0.99

預金は、末残が前年同月比で10,005百万円、2.70%の増加、前月比でも4,011百万円、1.06%と増加している。同様に、平残においても、前年同月比では11,042百万円、3.01%の増加、前月比でも、7,655百万円、2.07%の増加となっている。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で3,294百万円、2.26%の減少、前月比でも3,252百万円、2.23%と減少。同様に、平残においても、前年同月比では、2,976百万円、2.04%の減少、前月比でも、1,441百万円、0.99%の減少となっている。

8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	24,947	-17.51	-0.52
交 換 金 額	21,986	-25.39	3.65
不 渡 り 手 形 枚 数	3	-96.66	-40.00
不 渡 り 手 形 金 額	6	-88.73	277.25

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で5,297枚、17.51%の減少、前月比でも132枚、0.52%と減少している。また、交換金額においても前年同月比では7,482百万円、25.39%と減少したものの、前月比においては776百万円、3.65%の増加となっている。なお、不渡手形は3枚、6.3百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産は、6件（前年同月3件、前月9件）、負債総額46.4億円（同20.5億円、同8.9億円）と負債総額は大幅に増加となっている。地区別では下越地区で3件（新潟市3件）、中越地区で1件（三条市1件）、上越地区で2件（上越市・妙高市で各1件）発生している。

業種別は、建設業で2件、製造業・卸売業・小売業・その他で各1件発生となっている。

倒産原因別の状況については、販売不振が4件、売掛金回収難・その他が各1件となっている。

過去5年間での4月の負債総額は18.5～27.4億円で推移していたが、当月に至っては46.4億円と大幅な増加となった。

県内経済は、アベノミクス効果から、緩やかな景気回復傾向が窺え、小売業をはじめ、消費増税の反動は予想より小幅にとどまっている。ただし、円安による燃料費や資材の高騰など収益を圧迫する状況が続いていることから、体力が低下している企業には引き続き厳しい状況となっている。